

ご理解とご協力をお願いします

# マイマイガを『寄せ付けない・卵塊の駆除』

問合せ先

マイマイガ対策本部  
(生活環境課内)  
☎ 35-3138

昨年大量発生したマイマイガが、今年も発生しています。市内では、6月下旬から成虫が発生しており、徐々にその数が増加しています。昨年は7月下旬から大量発生が始まり、地域によっては8月下旬まで成虫が飛翔していましたので、今年もほぼ同時期まで飛翔すると思われま

す。成虫を寄せ付けないことや卵塊の駆除について、市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

## 成虫の駆除

壁や窓についているマイマイガには、蛾用の殺虫剤を吹き付けます。

卵を産み始めたマイマイガは、へらなどで落とします。

※成虫の駆除について、市民の皆様からいろいろなアイデアをいただいております。市では、市有施設でマイマイガの飛来が多いところでは、卵塊の付着軽減のため、光でおびき寄せて駆除することを検討しています。



電灯に群がった成虫が産み付けた卵  
(平成25年8月10日撮影・市役所)

## 卵塊の駆除

マイマイガの大量発生は、2～3年継続するといわれています。

産卵した卵塊には300～500個の卵が入っており、そのままにしておくと、来年の春に孵化し、幼虫(毛虫)となつて出てきます。来年の発生を抑制するため、今年のうちにはできるだけ卵塊の駆除をお願いします。



▲卵



◀成虫と卵

へらのようなものではぎ取るか、ペットボトルを使ってそぎ落とすなどしてください。

また、産卵後のマイマイガの死骸をそのままにしておくとも臭いが出る場合がありますので、早めに処分してください。

駆除した卵塊や成虫は、可燃ごみとして出してください。高いところに産み付けられた卵塊はガンゾルなど高圧の水で洗い落とす方法もあります。

駆除作業については、けがなどに十分気をつけて行ってください。



ペットボトルを半分にした容器でそぎ落とすと安価で効果的です

マスクやゴーグル、手袋、長袖の着用を

成虫や卵塊を駆除する際は、羽根などについている鱗粉や卵塊を覆っている鱗毛により、目のかゆみや肌がかぶれることがありますので、マスクやゴーグル、手袋、長袖を着用してください。

## マイマイガを寄せ付けない

▼外灯などの照明を消灯することは効果的です。

▼看板の照明や駐車場など敷地内の照明の自粛にご協力をお願いします。

▼室内照明の外部への漏れを防ぎましょう。



※防犯灯を消灯する際は、防犯面や交通安全を十分考慮したうえで実施してください。

グラウンド照明や小中学校体育館の利用を休止中です

8月25日(月)まで

※成虫の発生状況に応じて前後する場合があります。